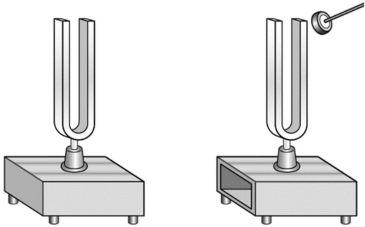
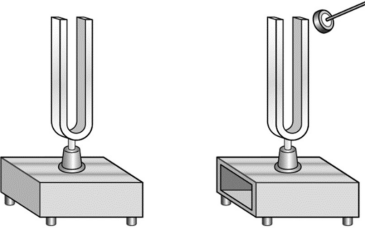


2章 音の性質 <1. 音の発生と伝わり方>

めあて

<実験1. 2 やってみよう> 糸電話 と ストロー

<実験3 やってみよう> 音叉 (おんさ) の共鳴

A		気づいたこと • 音叉1つ単独では音は小さい。 • 共鳴箱に触れると大きな音になる。 ※ 共 鳴 : 同じ振動数の場合。
B		気づいたこと • 音叉の音とは別にフーンフーンと鳴る。 ※ うなり : 少しだけ振動数が違う場合。

*POINT

1. 音を発しているものを 音源 といい、音を出しているときは 振動 している。

2. 音は、固体や液体、空気の中を 波 として伝わる。

3. 音が空気中を伝わる速さは、約340m/s である。(気温約15℃のとき) 気温が下がると遅い
光の速さは 約30万km/s

<実験1. 2 気づいたこと>

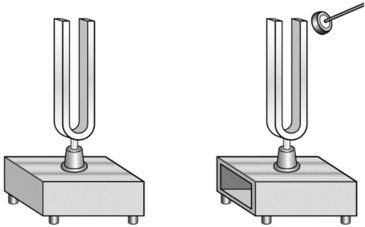
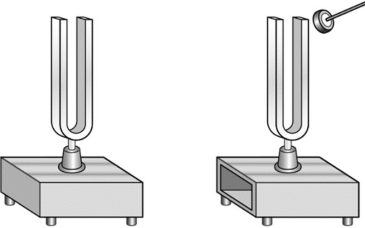
●ふりかえり 今日の授業でわかったこと・感想

2章 音の性質 <1. 音の発生と伝わり方>

めあて

<実験1. 2 やってみよう>

<実験3 やってみよう> 音叉 (おんさ) の共鳴

A		気づいたこと
B		気づいたこと

*POINT

<実験1. 2 気づいたこと>

●ふりかえり 今日の授業でわかったこと・感想